

CT 検査についての説明書

CT 検査（コンピュータ断層撮影検査）とは

人体に X 線を照射し、透過した X 線をコンピュータで処理をして断層画像をつくり、体内の様子を調べる検査です。他の放射線検査では得られない詳細な形態画像を得ることが可能です。横たわった姿勢のまま、ドーナツ状の装置の中を移動して、撮影部位にエックス線を照射します。検査時間は 5 分から 10 分程です。（造影検査は 30 分程かかることがあります）CT 検査自体では、体に対する痛みや刺激はまったくありません。

CT 検査に伴う放射線被曝について

CT 検査は他の放射線検査に比べると、被ばく線量は高い部類に入ります。しかし、通常の CT 検査の臓器線量は 20~30 ミリグレイ程度で、最も敏感な器官形成期の胎児奇形線量の 100 ミリグレイを超えることはありません。通常の CT 検査の実効線量は 10 ミリシーベルト程度であり、受けた放射線の量が 100 ミリシーベルト未満であれば、放射線検査を受けた人も受けなかった人も、発がん率や遺伝的な影響の差はないと言われています。この検査は、基本的に健康被害をもたらす被ばく線量ではありません。検査を依頼する医師は、**検査を行行情報を得ること**で診療が変化するか（正当化）の判断をし、診療放射線技師は、より低い線量でより質の高い画像を提供する（最適化）ことを常に実行しています。「放射線の事が心配で検査を受けなかったために、あなたの病気やけがの状態がわからず、症状が良くならない」ということは、もっとも避けなければなりません。

- * **グレイ** : 放射線のエネルギーがどれだけ人や物質に吸収されたかを表す単位
- * **シーベルト** : 人が受ける放射線による影響の度合いを表す単位
- * **正当化** : いつ発生するか分からない障害や、がんのわずかな可能性を心配するより、目の前の病気を治すことの方が大事という考えです。

CT 検査を受ける前に

下記に当てはまる方は申し出てください。

- ペースメーカーまたは埋め込み型除細動器などを装着している方。
※検査部位にペースメーカーが含まれる場合、ペースメーカー手帳をお持ちください。
※埋め込み型除細動器、神経刺激装置本体の範囲は撮影できません。
- 妊娠されている方、または可能性がある方。
※原則、当院では検査を行っておりません。

検査前の準備

- 撮影部位が腹部を含む方、または撮影部位に関わらず造影検査を受けられる方は、検査が**午前**の場合は**朝食**、**午後**の場合は**昼食**を摂らないで下さい。ただし、お茶や水などの水分は検査開始直前（30分以内）でなければ摂っていただいて結構です。（造影検査の場合、脱水状態では副作用が出現しやすくなります。水分は十分に摂ってください。）
- 膀胱を検査する方は、膀胱を見やすくするため検査開始2時間前より、排尿しないでください。
- 撮影部位にボタンや金属の付いた衣類があれば脱いでいただきます。
※更衣室には検査着を準備しております。
必要な方には着替えていただきます。

検査中の諸注意

- ほぼ仰向けの姿勢で検査しますが、別の姿勢をとっていただくことがあります。
- 撮影部位により、「息を止める」「つばを飲み込まない」など、指示を出すことがあります。
- 必要に応じて、バンド等で体を固定する場合があります。
- 検査中は検査室に一人だけになりますが、操作室から見ていますので安心してください。
- マイクを通して会話もできますので、何かあったらお知らせ下さい。

※検査について、わからないことがあれば放射線科までご連絡ください。

医療法人華頂会 琵琶湖養育院病院 放射線科 TEL 077-545-2508